

たいようホーム杯

第2回徳島県学童軟式野球連盟たいようホーム杯 大会規定 ＜6人制大会＞



TAIYO

1. 本大会は 2022 年度公認野球規則並びに連盟ルール及び本大会特別ルールにより行う。
2. 試合球は主催者が用意するボールとする。(J号球)
3. 試合はリーグ戦、トーナメント方式の5回戦とする。※リーグ戦において勝ち点で並んだ場合は順位決定規定に準ずる。
4. 得点差によるコールドゲームは3回以降10点及び日没、天候悪化等により試合続行不可能と大会本部が認めた場合3回終了時点で得点差がある場合は正式試合とし、3回を終了していない場合でも抽選とする。
5. 試合時間は、全試合60分を超えて新しいイニングに入らない。
6. 時間内5回終了後、若しくは時間切れで勝敗のつかない場合は抽選とする。
7. 投手・野手にこだわらず、一度ゲームを退いても何度でも出場できる。但し、投手がイニング途中で退いた場合は、同一イニングでの再登板は認めない。
8. 1イニングで5点得点すれば攻撃中でも(アウトカウントに関係なく)攻守交代とする(例 5回表終了し、先攻チームが9対0でリードしている場合、勝敗は先攻チームの勝ちとするが、裏の攻撃は60分以内であれば時間まで攻撃できる)
※柵越えホームランでの得点は5点以上も加算する
(例:1 イニングに4点入り、更に満塁で柵越えホームランならそのイニングの得点は8点となる)
9. 投手の投球回数制限を1日5イニングまでとする。投球回数の数え方は、回の途中で登板、または降板しても1イニングと数える。
10. バッティングカウントは1ボール1ストライクからのスタートとする。
11. 故意四球は適用、ホームスチールは危険防止のため禁止とし、ボークの規則は適用しない。
12. 塁間は23メートル、本塁と投手板の距離は15メートルとする。
13. 送球がデットライン、フェンスを越えた場合はテイク1とし、エンタイトルは2ベースとする。
14. 塁審は相互審判(一塁側:1塁 三塁側:3塁 2塁審判は2.5イニングで交代)で行う。(準決勝・決勝戦は除く)
15. ベンチに入ることの出来る人員は、開催要項の参加資格にあてはまる代表者、監督、コーチ2名(監督、コーチはユニホーム着用)の4名、登録選手15名以内、マネージャー1名、スコアラー1名。
16. 抗議は一切受け付けない。規則上において疑義が生じた場合のみ監督が疑義の申し立てをすることができる。(監督の代理を務める者については、メンバー表の監督欄に記載の者に限る)
17. 相手チームをけなすヤジは特に慎むこと。鳴り物・メガホン等の応援は禁止します。
18. メンバー表は(4部)提出。試合開始予定時刻30分前までに本部に提出し、試合ができるよう準備すること。
メンバー表には当試合の控選手を必ず記入すること。
20. 大会中の事故、疾病及び負傷については、応急手当以外の責任は負いません。スポーツ傷害保険等に必ず加入しておいてください。